

和歌山県立
田辺中学校

学校だより



平成28年3月15日
第147号

学校長式辞

「さらなる成長を願って」

校長 岩崎浩久

厳しかった冬の寒さも和らぎ、少しずつ自然が輝きを取り戻し、そこかしこに春の訪れを感じるこの佳き日に、田辺中学校の全課程を修了され、卒業されました皆さん、卒業おめでとうございます。

四月から、皆さんは高校生となり、新しい環境での学校生活が始まります。しかし皆さんは、田辺中学校で学んださまざまなことを活かし、夢を持ち、それを具体的な目標へと変え、自らの知恵と力で、逞しく未来を切り拓いていってほしいと思います。

卒業にあたり、世界的に有名なある会社のお話しをしたいと思えます。その会社の名前はハードロック工業株式会社、東大阪市にあり、現在の従業員は五十三名というたいへん小さな会社です。



この会社はネジを販売しています。昭和四十九年に「絶対に緩まないネジ」を開発し、世界的に有名になりました。ネジを使用するもので、利用する人々の安全を完璧に守らなければならぬものは、世の中に数多くあります。取り付ける場所によっては、保守点検が難しいこともあるでしょう。そのようなとき、この「絶対に緩まないネジ」は威力を発揮します。しかし、ネジというものは取り外しができるといふのが前提ですから、振動で緩んでしまうという事は避けられないように思います。絶対に緩まないということと、ネジがネジとして機能することとは、本来矛盾しているのです。この会社が現在販売しているものはネジすべてではなくて、正確に言うと、ネジの部品のうちナットと

呼ばれるものです。

この会社の若林克彦社長は、小さい頃から工夫や発明が大好きでした。きっかけは十歳の時、父親の郷里で、みんなが腰をかかめて一粒ずつ種まきをしている姿を見て、何かよい方法はないかと考えたことでした。若林少年は、車輪のように回転する仕組みに等間隔に穴を開け、それを転がして種をまく道具を作りました。この発明に大人たちは大喜びしてくれました。「自分のちよつとした工夫で周りの人が喜んでくれる」、これが原体験となつて、後に若林社長は、卵焼き器やトイレトペーパーホルダーなど、次々とヒット商品を開発することになります。

若林社長は大学卒業後、大阪のバルブメーカーに就職しました。ここで彼の目は、戻り止めナットと呼ばれるものに釘付けになります。ナットの中にコイル状のバネが入っていて、この抵抗でネジを緩みにくくするものです。彼はこのバネを板状に変えて、作りやすく性能のよい「Uナット」と呼ばれる商品を開発しました。バルブメーカーを辞め、会社を立ち上げましたが、このナットは一向に売れません。新しい商品は問屋に置いておくだけで売れないのです。彼は工場まわりを始めました。経営の苦しい間は、卵焼き器など以前の発明が支えになってくれま

した。そうして、二、三年が過ぎた頃、やっと「Uナット」は売れるようになりました。

「Uナット」は普通の環境で使用する限りは緩まないのですが、振動の激しい環境で使用すると緩みます。この商品は常にクレームと隣り合わせでした。「絶対に緩まないネジ」は開発できないのか、若林社長は悩み抜きます。ある年、初詣に行った住吉大社で、鳥居を見てアイデアがひらめきました。鳥居の継ぎ目に楔と呼ばれるものが打ち込んであったのです。試しにネジに楔を打ち込んでみるとどんな振動でも緩みません。取りはずしもできなければなりません。そこで彼はさらに考えて、現在販売している「ハードロックナット」をついに開発するのです。





「学びあい」「支えあい」「高めあい」の「3つのあい」を忘れず歩んでいただけることを期待します。

普通ネジ一組にナットは一個ですが、このナットは二個が一对になっています。ネジを締めると、片方のナットの隙間に、もう片方のナットの飛び出た部分が入り込むようになってきます。この凹凸が楔の役割をして、絶対に緩まなくなるのです。このナットは、瞬く間に受注が伸び、鉄道の線路をはじめとして、新幹線や飛行機、瀬戸大橋やスカイツリーなどに使用され、利用者の安全にたいへん貢献しています。

このハードロック工業株式会社は、たいへん小さな会社ですが、ここで働く人たちは皆、この仕事は自分たちにはできないという、夢と誇りを持って働いています。最後に若林社長の言葉を借りて、皆さんへの餞の言葉としたいと思います。「世の中のすべてのものはまだ未完成です。本社のナットも例外ではありません。仕事を通じて、たくさんの人に喜んでもらいたい。よいアイデアは人を幸せにします。そして資金や施設設備とは違い、アイデアは誰にでも平等にある財産です」

本日卒業されました皆さんが、これからの高校生活を、心身ともに健康で、明るくいいきいきと、誇りと高志、諦めず挑戦する心を持って、「学びあい」「支えあい」「高めあい」の「3つのあい」を忘れず歩んでいただけることを期待します。

お別れ球技大会

三月二日（水）、後期生徒会が主催して、三年生お別れ球技大会を実施しました。



種目は毎年恒例のドッジボール。全校生徒を学年を越えた十六チームに分けて、対抗試合を行い、勝敗を競うとともに、卒業生と在校生が交流する最後の機会となりました。

学年末考査の翌日でしたが、天候にも恵まれ、テストの疲れを感じさせない程、大いに盛り上がりました。

閉会式では、中央委員長を代表とするセレモニーも行われ、在校生から卒業生一人ひとりにあてた心温まるメッセージカードが贈られました。

準備や当日の運営をしてくださいました生徒会の役員さん、また、当日のライン引きを手伝ってくれた体育委員さん、ありがとうございました。



クリーンフェスティバル

三月七日（月）、卒業式に向けて、協力して校内美化に取り組むことを目的に、生徒会と環境委員会が主催して、新しい企画であるクリーンフェスティバルを行いました。

日頃あまり十分に時間をかけることができない場所の掃除もでき、非常にきれいになりました。



3月・4月 行事予定

- 3月**
- 17日（木）生徒会立会演説
 - 22日（火）スクールカウンセラー来校
田辺高校入学予定者登校日
 - 24日（木）修了式、生徒会認証式
 - 26日（土）～28日（月）強化合宿（陸上）
 - 27日（日）郡記録会（陸上）
まちかどコンサート（吹奏楽）
- 4月**
- 5日（火）離任式（定刻登校）
 - 7日（木）高校入学式（午前）
中学校入学式（午後）
 - 8日（金）新任式、始業式

